

変形追随性遮水材料を用いた遮水壁構造に関する実海域実証 実験(その2)

上野 一彦¹⁾, 山田 耕一¹⁾, 上田 正樹¹⁾, 渡部 要一²⁾

Field Experiment on Impervious Wall Structures with Clayey Water Interception Materials(part 2)

Kazuhiko Ueno¹⁾, Koichi Yamada¹⁾, Masaki Ueda¹⁾ and Yoichi Watabe²⁾

■ 要 旨 ■

管理型海面廃棄物最終処分場の遮水護岸には、継手を止水処理した鋼管矢板壁が採用されることが多い。筆者らは、鋼管矢板継手の遮水性能向上を目的として、パイプ-T継手部外側にU形矢板を設置して出来た空間に、変形追随性を有する土質遮水材料を充填した継手遮水構造を提案し、この構造の遮水性能を実海域において、1年以上にわたり調査してきた。

本研究では、遮水性能に加え、充填した土質遮水材料の性状を調査するために、不搅乱試料を採取し、強度および含水比の分布を調べた。また、万一、矢板が腐食等により孔が生じてしまった場合、そこから土質遮水材料が漏れ出しが懸念されるため、矢板に人為的に孔を開け、土質遮水材料の漏れ出し状況についても確認した。



遮水実験構造物全景



遮水構造拡大写真

1) 技術研究所

2) 独立行政法人港湾空港技術研究所 地盤・構造部

*海洋開発論文集, Vol.20, P855-860, 2005(土木学会)掲載